

豊岡市総合計画の検証について

1 検証の趣旨

平成 19 年 3 月に策定した豊岡市総合計画において、めざすまちの将来像を「コウノトリ悠然と舞う ふるさと」とし、①自然に抱かれて生きる、②いまを大切にし、日々の暮らしを楽しむ、③未来への責任を果たすことを基本姿勢とし、様々な施策を展開してきた。

現総合計画が平成 29 年度末で終了することから、11 年間の取組みとその成果等を評価し、検証結果を公表するものとする。

- (1) 構成 豊岡市総合計画（基本構想、基本計画、実施計画）
- (2) 計画期間 豊岡市総合計画
 - 基本構想 11 年(H19～H29 年度)
 - 基本計画 前期 5 年(H19～H23 年度)、後期 6 年(H24～H29 年度)
 - 実施計画 3 カ年計画（毎年度見直し）

2 検証の方法

- (1) まちづくり市民アンケートによる施策に対する評価
- (2) 後期基本計画における目標値の達成状況
- (3) 施策体系ごとに実施した主な取組みの実績

3 総合計画における 11 年間の総評

- (1) まちの将来像「コウノトリ悠然と舞う ふるさと」の実現

この将来像には、豊岡の空をコウノトリが悠然と舞う姿に人々が共感し、おおらかな気持ちで暮らせるまちをめざすという、言わば理想的なまちの姿、到達点をめざした将来像であり、この将来像を実現するためには長期的、継続的な取組みが必要である。

ここでは、下記 3 点を総合し、市政に対する市民満足度及び後期基本計画の施策のそれぞれ約 7 割の項目が向上したことからすると、将来像の実現に向けて、一定の成果があったものと言える。

ア まちづくりの施策のうち 68.8%で満足度が向上

総合計画の体系 48 施策のうち、33 施策（68.8%）の満足度が向上している。

イ 後期基本計画における目標値は、70.5%の項目が基準値を上回る

122 項目のうち、「達成」できたのは 54 項目（44.3%）、基準値より向上した「順行」は 32 項目（26.2%）、計 86 項目（70.5%）で施策の取組みが向上した。

ウ 主な取組みの実績

環境都市「豊岡エコバレー」及び大交流の実現に向けた取組み（特に外国人観光客数の激増）、歩いて暮らすまちづくりの推進、但馬こうのとり周産期医療センターの整備、城崎国際アートセンターを核とした文化芸術の推進、ローカル&コミュニケーション教育の導入等、特色あるまちづくりを推進した。（具体的な事業名は、6 ページ以降に記載）

(2) 将来人口等

ア 定住人口

基準値 89,208 人(H17)とし、90,000 人(H28)を目指したが、H27 の国勢調査で 82,250 人と、10 年間で 6,958 人(約 8%)の人口が減少した。

イ 交流人口

検証不可能(平成 21 年に兵庫県観光動態調査の基準が改訂され、同じ基準で評価できないため)。

基準値を 530 万人(H17)とし、目標を 600 万人(H28)としたが、H28 年度の同調査では 420 万人であった。しかし、外国人宿泊者数は、10,457 人(H25)に対して 50,800 人(H29)と 4 年間で 40,343 人(4.9 倍)と大きく増えた。

1 まちづくり市民アンケートによる施策に対する評価

(1) 評価方法

平成 23 年度と平成 28 年度に行った「まちづくり市民アンケート調査結果」を用い、基本計画に基づき実施した施策に対して市民の「満足度」と「重要度」を比較した。

また、後期基本計画における施策体系は、前期基本計画から若干の見直しを行ったため、共通する 48 項目を比較し、評価を行うものとする。

(2) 評価

「満足度」は、48 項目中 33 項目(68.8%)で上がり、1 項目は同数、14 項目(29.2%)が下がった。

増加幅の大きかったのが、「(19)農業の振興に関する取組み(0.07)」が前回 Δ 0.69 から 0.76 ポイント増加し、最も増加ポイントが高くなっている。次いで、「(23)工業の振興に関する取組み(Δ 0.20)」が前回 Δ 0.82 から 0.62 ポイント、「(22)商業の振興に関する取組み(Δ 0.59)」が前回 Δ 1.17 から 0.58 ポイント、「(36)ふるさとを愛する心の育成に関する取組み(0.59)」が前回 0.07 から 0.52 ポイント、「(17)水道・下水道の整備に関する取組み(1.02)」が前回 0.57 から 0.45 ポイント、それぞれ高くなっている。

「重要度」では、32 項目(66.7%)が上がり、16 項目(33.3%)が下がる結果となった。

増加幅の大きかったのが、「(6)医療環境の充実に関する取組み(1.66)」が前回 1.33 から 0.33 ポイント増加し、最も増加ポイントが高くなっている。次いで、「(4)安心して暮らせる地域社会の構築に関する取組み(1.47)」が前回 1.16 から 0.31 ポイント、「(26)住環境の整備に関する取組み(1.09)」が前回 0.80 から 0.29 ポイント、「(5)健康づくりの推進に関する取組み(1.23)」が前回 0.98 から 0.25 ポイント、「(11)社会保障の適正実施に関する取組み(1.49)」が前回 1.24 から 0.25 ポイントそれぞれ高くなっている。

約 7 割の施策で「満足度」が向上していることを見ると、平成 24 年度から平成 28 年度の後期基本計画期間中の市政全般の取組みに対し、一定の評価が得られたものと考えられる。

【表 1】 平成 23 年度調査と平成 28 年度調査の比較

No	項 目	H23 調査		H28 調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
	防災・減災力	0.31	1.44	※項目を分割			
1	〃 ハード			0.14	1.61	↓	↑
2	〃 ソフト			0.23	1.47	↓	↑
3	消防・救急体制	0.94	1.52	1.23	1.59	↑	↑
4	安全なくらし	0.22	1.22	0.41	1.35	↑	↑
5	健康づくり	0.31	0.98	0.58	1.23	↑	↑
6	医療環境	△0.39	1.33	0.04	1.66	↑	↑
7	地域社会	△0.12	1.16	△0.12	1.47	→	↑
8	高齢者福祉	0.01	1.20	0.05	1.35	↑	↑
9	介護保険制度	△0.27	1.40	△0.20	1.51	↑	↑
10	障害者福祉	△0.16	1.23	0.00	1.41	↑	↑
11	社会保障	△0.26	1.24	△0.16	1.49	↑	↑
12	斎場・霊苑	0.56	0.54	0.67	0.73	↑	↑
13	コウノトリと共生する豊かな自然の保全	0.78	0.31	0.59	0.03	↓	↓
14	コウノトリと共生する豊かな文化の保全	0.60	0.35	0.50	0.15	↓	↓
	環境経済戦略	△0.04	1.02	※項目の統合			
15	循環型社会	0.08	1.32	0.14	0.73	↑	↓
16	美しい環境の確保	0.02	1.21	0.27	1.15	↑	↓
17	水道・下水道の整備	0.58	1.38	1.02	1.51	↑	↑
	情報発信			0.14	0.32	※項目の追加	
18	観光振興	0.34	0.83	0.28	0.84	↓	↑
19	農業振興	△0.69	1.16	0.07	0.90	↑	↓
20	林業振興	△0.75	0.88	△0.55	0.92	↑	↑
21	水産業振興	△0.34	0.94	△0.15	0.96	↑	↑
22	商業振興	△1.17	1.22	△0.59	1.07	↑	↓
23	工業振興	△0.82	1.21	△0.20	1.18	↑	↓
24	雇用対策	△1.02	1.45	△0.69	1.50	↑	↑
25	総合的な土地利用	△0.50	0.77	△0.45	0.94	↑	↑
26	住環境の整備	△0.51	0.80	△0.52	1.09	↓	↑
27	道路網の整備	△0.55	1.08	△0.16	1.30	↑	↑
28	公共交通の充実	△0.43	0.87	△0.13	1.03	↑	↑
29	魅力ある景観の形成	0.26	0.69	0.18	0.56	↓	↓
30	公園の整備	0.03	0.52	0.05	0.54	↑	↑
31	地域情報化の推進	△0.01	0.77	0.17	0.75	↑	↓
	定住促進			△0.63	1.04	※項目の追加	
	魅力ある地域の形成			△0.57	0.73	※項目の追加	
32	子育て環境の充実	△0.09	1.38	△0.16	1.51	↓	↑
33	教育の推進	△0.02	1.21	△0.14	1.37	↓	↑
34	教育環境の充実	△0.01	1.34	△0.15	1.38	↓	↑
35	家庭・地域教育力の向上	0.04	1.17	0.05	1.28	↑	↑
36	ふるさとを愛する心の育成	0.07	0.81	0.59	0.98	↑	↑
37	国際交流の推進（多文化共生）	0.02	0.25	0.26	0.31	↑	↑
38	国内交流の推進	0.02	0.24	0.20	0.23	↑	↓
39	生涯学習の推進	0.21	0.64	0.35	0.71	↑	↑
40	芸術文化の振興と文化財保護	0.22	0.49	0.31	0.28	↑	↓

No	項目	H23 調査		H28 調査		比較	
		満足度	重要度	満足度	重要度	満足度	重要度
41	生涯スポーツの推進	0.14	0.52	0.10	0.58	↓	↑
42	高齢者の社会参加・生きがいづくり	0.03	0.90	△0.06	1.13	↓	↑
43	地域力の向上	0.05	0.76	0.03	0.82	↓	↑
	豊岡地域	△0.91	1.05	※項目の削除			
	城崎地域	0.46	0.82				
	竹野地域	0.07	0.84				
	日高地域	0.35	0.62				
	出石地域	0.62	0.69				
	但東地域	0.39	0.67				
44	パートナーシップ	0.17	0.84	0.12	0.73	↓	↓
45	男女共同参画社会の推進	△0.20	0.67	△0.14	0.64	↑	↓
46	効率的、効果的な行政組織の構築	△0.80	1.25	△0.41	1.12	↑	↓
47	行財政運営の推進	△0.63	1.14	△0.40	0.95	↑	↓
48	周辺市町との連携	△0.27	1.24	0.13	1.07	↑	↓
		合計			↑	33	32
					↓	14	16
					→	1	-

【満足度、重要度点数の説明】

満足度、重要度の選択肢である「満足」「重要」を2点、「やや満足」「やや重要」を1点、「やや不満」「あまり重要でない」を△1点、「不満」「重要ではない」を△2点とし、取り組みごとに各選択肢の回答数と上記の点数を乗じ、それを回答者数で除することで点数を算出した。

【例】

	満足度					
	回答数	満足	やや満足	やや不満	不満	計
防災・減災力(ソフト)	877	98	437	256	86	
		0.22	0.5	△0.29	△0.2	0.23

	重要度				計
	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	
回答数	595	381	41	9	1,026
	1.16	0.37	△0.04	△0.02	1.47

2 後期基本計画における目標値の達成状況

(1) 評価方法

総合計画 10 年間のうち目標値を設定した後期基本計画について、目標値の達成状況により評価を行う。ただし、後期基本計画の計画期間を 1 年間延長（※¹）したが、目標値を変更していないため、当初の計画期間である平成 24 年度から平成 28 年度の 5 年間で評価を行うものとする。

また、基本施策ごとに総合計画 10 年間の主な成果（①10 年前の現状に対して、②どのような取組みを行い、③どのような結果が得られたか）をまとめた。

※¹ 次期基本構想を市長就任後に策定するため。

(2) 評価

ア 目標値による評価

目標値は、後期基本計画の施策体系を更に細分化した「基本施策」ごとに全 122 項目に設定しており、基準値（平成 22 年度）から見て 5 年後の目標値（平成 28 年度）に向けてどのように変化したかを、「㊦達成」、「㊧順行」、「㊨基準値と同じ」、「㊩逆行」で評価した。

122 項目のうち、「㊦達成」できたのは 54 項目（44.3%）、「㊧順行」は 32 項目（26.2%）、「㊨基準値と同じ」は 3 項目（2.5%）、「㊩逆行」は 33 項目（27.0%）という状況であった。

約半数で目標値が達成できなかったものの、「㊦達成」に「㊧順行」を加えると、86 項目（70.5%）で施策の取組みが向上したと言える。

イ 取組内容における検証結果

「㊦達成」及び「㊧順行」した項目は、課題に対する取組み内容が直接的に結果に結びついたと考えられる。

「㊨基準値と同じ」及び「㊩逆行」についても、課題に対して取組みを行っているものの結果に結びつけることができなかった。これは、行政の取組み以外の要素も起因していると考えられる。

例えば、「消防団員の定数充足率」では、消防団による勧誘、啓発活動のほか、地区区長会への団員確保要請等を行ったが、団員の確保に結び付かなかった。他の要因としては、若者の都市への人口流出等も影響していると考えられる。

以下、別添「目標値に対する平成 28 年度の状況」に各担当課による検証結果をまとめている。（※平成 29 年 9 月に市議会議員に配布済）

3 施策体系ごとに実施した主な取組みの実績

大項目	中項目	基本計画で取り組んだ主な事業	
		前期 (H19～H23)	後期 (H24～H29)
1 安全に安心して暮らせるまち			
(1) 安全を守るまちづくり			
	円山川緊急治水対策事業	円山川河川整備事業	
	Jアラート・防災行政無線	防災対策の充実	
	ドクターヘリ・ドクターカー導入	ドクターヘリ・ドクターカーの運行	
	防災教育	土砂災害危険度判定システムの構築	
	消防救急無線デジタル化	消防救急デジタル無線の整備	
	地域情報化基盤整備事業	行政区別ハザードマップ作成	
	行政情報化推進事業		
	稲葉川区画整理事業		
	高機能消防指令センター		
	城崎分署整備		
	暴力団対策基金条例		
	消費者行政推進事業		
(2) 安心しておだやかに暮らせるまちづくり			
	医師修学資金貸付・就業支度金貸与	母子保健事業（特定不妊治療助成等）	
	周産期医療センターの整備	但馬こうのとり周産期医療センターが完成	
	歩いて暮らすまちづくり	歩いて暮らすまちづくり構想の推進	
	福祉医療費助成	乳幼児医療費助成・こども医療費助成の拡大	
	霊園整備	豊岡斎場改修事業	
	総合健康ゾーン整備		
	北但療育センター整備		
	障害者相談支援		
2 人と自然が共生するまち			
(1) 人と自然が響きあうまちづくり			
	生物多様性地域戦略	ライフスタイルの共同研究（補助金等）	
	ラムサール条約湿地登録	ラムサール条約関連事業	
	コウノトリ生息地保全	コウノトリ生息地保全事業	
	コウノトリ育む農法・販路拡大	コウノトリ野生復帰事業	
	知の拠点づくり	加陽湿地拠点整備事業	
	有害鳥獣対策	有害鳥獣駆除対策	
(2) 環境型のまちづくり			
	北但ごみ処理施設	北但ごみ処理施設整備	
	エコバレー推進	大規模太陽光発電所（メガソーラー）の整備	
	バイオマスタウン推進	バイオマスタウンの推進	

大項目	中項目	基本計画で取り組んだ主な事業	
		前期 (H19～H23)	後期 (H24～H29)
		上水道施設長寿命化	豊岡エコポイント制度の実施
		資源ごみ選別ライン	
		ごみ減量化	
3 持続可能な力を高めるまちづくり			
(1) 地域経済を元気にするまちづくり			
		情報発信戦略	情報戦略の推進
		情報発信戦略(NOMO ベースボール)	
		企業誘致	企業誘致推進事業(I T関連事業所開設支援補助金など)
		中心市街地活性化	中心市街地活性化事業(南庁舎別館整備、まちなかステーション整備、カバン・アルチザン・スクエア整備など)
		玄武洞公園整備	玄武洞公園整備事業
		ジオパーク普及啓発	環境経済事業の推進
		経済成長戦略	ものづくり支援
			労働力確保支援等
			靴産業人材育成事業(靴縫製者トレーニング事業補助、シェアハウス整備など)
			コワーキング豊岡整備事業
			専門職大学の設置に向けた取組み
			豊岡DMO設立事業
			海外戦略の推進
			コウノトリ育む農法の推進
			コウノトリ育むお米の販売促進(ブランド化推進、海外販路の開拓など)
			豊岡農業スクール
			新規就農総合支援事業(若手農家支援、農業体験、家賃補助制度など)
(2) 賑わいと魅力を創るまちづくり			
		高規格道路整備	高規格道路整備
		道路・橋梁長寿命化	山陰海岸ジオパークの推進
		公共交通確保	持続可能な公共交通の推進(公共交通利用促進、バス・鉄道対策など)
		景観条例	景観計画及び景観条例の推進
		市営住宅長寿命化・田舎暮らし住宅	伝統的建造物群保存地区保存事業

大項目	中項目	基本計画で取り組んだ主な事業	
		前期 (H19～H23)	後期 (H24～H29)
		豊岡駅前広場整備	但馬空港周辺整備事業
		e 通勤プロジェクト	但馬空港利用促進事業
			主要道等の整備
	(3) 活力を生むまちづくり		
		定住促進	定住促進(移住定住促進プロモーション戦略事業など)
	過疎対策	過疎対策(過疎地域戦略プロジェクトの推進など)	
		婚活事業の推進	
		地域おこし協力隊の導入・推進	
4 未来を拓く人を育むまち			
	(1) 健やかで健康な子どもを育むまちづくり		
	夢への挑戦(南極事業、宇宙教育)	夢への挑戦応援事業(宇宙教育等)	
	すくすくプラン(運動遊び)	すくすくプランの推進(運動遊び)	
	保・幼・小・中学校連携	小中一貫教育推進事業	
	学校施設耐震化	学校施設整備(耐震化、吊り天井等落下防止対策など)	
	読書活動推進	コミュニケーション教育推進事業	
	子育てセンター整備	英語保育・教育推進事業	
	小学校プール整備	中学校空調設備設置	
	校庭芝生化	ファミリーサポートセンター事業	
	学校給食施設再編	こども支援センター機能充実事業	
	幼・保のあり方(認定こども園)	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭の開催	
	フィフティフィフティ推進	竹野・森本中学校の統合事業	
		清滝・西気小学校の統合	
	(2) ふるさとを愛する心の育成		
	ふるさと学習	ふるさと教育推進事業	
5 人生を楽しみお互いを支え合うまち			
	(1) 日々人生を楽しむまちづくり		
	永楽館整備	出石永楽館歌舞伎の開催	
	城崎温泉アートセンター化構想	城崎国際アートセンターの整備・事業(体制整備)	
	国の重要伝統的建造物群保存地区	豊岡市総合スポーツセンター整備(このとりスタジアム、陸上競技場)	
	スポーツ大会	円山川運動公園の移転整備	

大項目	中項目	基本計画で取り組んだ主な事業	
		前期 (H19～H23)	後期 (H24～H29)
		スポーツ推進計画	ソーシャルインクルージョンの推進
		但馬国分寺跡保全活用	植村直己冒険賞
		市民会館耐震化・リニューアル	
	(2) お互いを支え合うまちづくり		
		地区公民館整備	地区コミュニティセンターの整備
	図書館整備・ネットワーク化	新しい地域コミュニティの推進	
6 基本計画の実現に向けて			
(1) 特色ある地域の成長と連携			
		奇跡の温泉街城崎 (過疎)	地域プロデューサーの配置
		木屋町小路整備	城崎振興局プロジェクトの推進
		北前館改修	竹野振興局プロジェクトの推進
		竹野スタイル (過疎)	日高振興局プロジェクトの推進
		仲田光成かな書展	出石振興局プロジェクトの推進
		ゆとろぎ整備	但東振興局プロジェクトの推進
		伝建整備	
		永楽館歌舞伎	
		たんたん温泉整備	
(2) 参画と協働のまちづくり			
			豊岡稽古堂塾の開講
			参画と協働のまちづくり推進
(3) 新しい時代にふさわしい行政経営			
		新庁舎建設	新庁舎完成
		財政運営	地方創生 (人口減少対策) の推進
		行政改革の推進	次期総合計画のあり方検討
			コウノトリ豊岡寄付金推進事業
			いのちへの共感に満ちたまちづくり事業
			事務事業評価から政策評価への転換
			公共施設マネジメント計画の策定
			職員表彰制度の創設